

事務事業評価事業一覧表(令和4年度決算)

一般会計

事務事業番号	事業名			担当部署	事業の評価	ページ
	款	項	目			
	商工費	商工費	商工振興費			
07010101	創業促進・商業にぎわい事業			商業振興課	A	288
07010102	中小企業振興資金貸付金			商業振興課	A	289
07010103	小規模企業経営改善資金貸付金			商業振興課	A	290
07010104	中小企業協同化資金貸付金			商業振興課	A	291
07010105	中小企業機械等購入資金貸付金			商業振興課	B	292
07010106	店舗近代化設備資金貸付金			商業振興課	B	293
07010107	中小企業環境保全施設資金貸付金			商業振興課	B	294
07010108	小規模企業経営改善資金信用保証料補給金			商業振興課	A	295
07010109	中小企業振興事業			商業振興課	A	296
07010110	中小企業人材育成補助			工業・雇用振興課	A	297
07010111	苫小牧地域産業力強化補助			工業・雇用振興課	B	298
07010112	共同研究支援事業			工業・雇用振興課	C	299
07010113	地方創生地域コミュニティ活性化支援事業			商業振興課	B	300
07010114	とまなか産業発展・創出事業			工業・雇用振興課	A	301
07010115	苫小牧イノベーション活性化事業			工業・雇用振興課	B	302
07010116	苫小牧市事業承継推進事業			商業振興課	A	303
07010117	ぶらっとみなど市場施設整備事業			商業振興課	B	304
07010118	貨物自動車運送事業者燃料価格高騰対策支援事業			工業・雇用振興課	A	305
07010119	事業継続支援事業2022			緊急経済対策給付金室	A	306
07010120	事業継続支援事業2022(第2弾)			緊急経済対策給付金室	A	307
07010121	プレミアム付商品券事業(第3弾)【繰越明許】			緊急経済対策給付金室	A	308
07010122	第三者認証取得推奨給付金事業【繰越明許】			緊急経済対策給付金室	A	309
	商工費	商工費	企業立地推進費			
07010201	苫小牧港管理組合負担金			港湾・企業振興課	A	310
07010202	企業立地振興条例助成			港湾・企業振興課	A	311
07010203	苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会負担金			港湾・企業振興課	B	312
07010204	立地企業サポート事業			港湾・企業振興課	B	313
07010205	苫小牧港PR促進事業			港湾・企業振興課	A	314
07010206	テクノセンター機器整備事業			テクノセンター	A	315
07010207	苫小牧クルーズ振興協議会補助			港湾・企業振興課	C	316
07010208	苫小牧市テクノセンター機器等整備基金積立金			テクノセンター	A	317
07010209	苫東地区通信基盤撤去事業			港湾・企業振興課	A	318
07010210	テクノセンター受変電設備改修工事			テクノセンター	A	319
	商工費	商工費	観光費			
07010301	港まつり事業			観光振興課	A	320
07010302	スケートまつり事業			観光振興課	A	321
07010303	たるまえサンフェスティバル事業			観光振興課	A	322
07010304	苫小牧市大会等誘致推進協議会補助			観光振興課	A	323
07010305	とまこまいフィルムコミッション事業			観光振興課	A	324
07010306	観光振興ビジョン推進事業			観光振興課	A	325
07010307	ウトナイ交流センター施設整備事業			観光振興課	A	326
07010308	モラップ事業場受電キュービクル更新修繕負担金			観光振興課	B	327
07010309	ウトナイ交流センター補償金			観光振興課	A	328
07010310	ウトナイ交流センター電気料金高騰支援補償金			観光振興課	A	329
07010311	宿泊割引・宿泊者向け商品券配布事業【繰越明許】			観光振興課	A	330

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010101

事業名		創業促進・商業にぎわい事業		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市商店街の活性化に関する条例							
令和4年度決算額		17,674	千円	項目評価			総合評価		
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	4,968	千円						
	一般財源	12,706	千円						
事業費（総計）		22,032	千円						
決算額		17,674	千円						
人件費		4,358	千円			A			
事業の目的		市内商店会における商店街振興策の実施促進、商店会店舗の魅力向上、空き店舗の活用、創業者への支援等によって、市内商店街の活性化を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 イベント・環境整備等助成事業 商店会が行う環境整備（花壇整備等）や加入促進、イベント開催など商店街活性化に係る事業等の経費の一部を助成します。</p> <p>2 店舗改装費補助事業 市内全域の店舗を対象に、自店舗の魅力向上又は来店者の増加につながるような改装工事を市内施工業者を利用して行う者に対し、その費用の一部を補助します。</p> <p>3 空き店舗活用事業 商店街の空き店舗を活用して、集客に役立つ施設や創業者が活用する施設等を開設する場合、家賃や移転改装費の一部を補助します。</p> <p>4 創業サポート事業 創業計画から創業後の経営基盤の強化まで一貫したフォローを行い、本市の経済を担う新たな中小企業者の育成を図ります。</p> <p>5 空き店舗調査業務 空き店舗活用を促進するため、空き店舗の調査業務を委託し、市内全域の商店会に存在する空き店舗情報を、市ホームページに掲載します。</p>							
		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度		
		イベント・環境整備等助成金		件	26	17	25		
		店舗改装費補助金（通例）※R3, R2の()は特例		件	8	9(126)	16(71)		
		空き店舗活用事業		件	15	14	13		
		新規創業セミナー修了者		人	65	48	54		
		創業サポート事業補助金		件	34	21	22		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				イベント支援やIT化支援、環境整備支援など、商店街の営業継続に対し有効に活用されたため「4」としました。			
効率性		●				プレミアム付商品券を商店街で利用促進するため、各商店会と時期を合わせてタイアップ事業を行うなど効率的な取組により「4」としました。			
公平性		●				事業の実施時は、各商店会や関係団体への周知、会報への掲載、市広報誌やホームページ、フェイスブック等による周知を十分に行い、公平性に配慮したことから「4」としました。			
将来性		●				本事業については、商店街の維持・活性化や、本市において創業することにより、にぎわいの創出に繋がることから「4」としました。			
総合評価		A		コロナ禍であっても、助成・補助件数が堅調に推移するなど活用されており、各商店会や事業者等のニーズに沿った事業内容であると考えます。今後も社会状況や地域課題の変化に対応した効果的な振興策を実施するため、適宜見直しを行うとともに、広く周知を図っていきます。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010102

事業名		中小企業振興資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
令和4年度決算額	258,000	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	258,000 千円							
	一般財源	千円							
事業費（総計）	258,430	千円							
決算額	258,000	千円							
人件費	430	千円							
事業の目的	<p>中小企業者等に対し、事業活動に必要な運転資金及び設備資金の融資の円滑化を図ることにより、経営基盤の強化及び経営の安定化を図ります。</p>								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう </p> <ol style="list-style-type: none"> 融資対象 市内に独立した事業所を有し、かつ、市税を完納している中小企業者等 融資金額 運転資金：4,000万円以内、設備資金：4,000万円以内 融資利率 1年以内：年1.2%、1年超5年以内：年1.7%、5年超：年1.8% 融資期間 運転資金：10年以内、設備資金：12年以内 <p>※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	融資金額		千円	708,300	611,300	456,460			
	融資件数		件	53	41	35			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							本資金は、市内中小企業者に広く活用されていることから、「4」としました。
	効率性	●							事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
	公平性	●							市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。
将来性	●				コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしており、中小企業者等の発展に欠かせない事業であることから、「4」としました。				
総合評価	A				<p>本資金は市内中小企業者に広く活用されており、コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。</p>				
特記事項	<p>決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。</p>								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010103

事業名		小規模企業経営改善資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
令和4年度決算額	900,000	千円	項目評価				総合評価 A		
財源内訳	国道支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	900,000 千円							
	一般財源	千円							
事業費（総計）	900,430	千円							
決算額	900,000	千円							
人件費	430	千円							
事業の目的	小規模企業者等に対し、事業活動に必要な資金調達の融資の円滑化を図り、経営の安定に資することを目的とします。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>1 融資対象 常時使用する従業員数50人以下の会社及び個人で、市内に独立した事務所があり、かつ市税を完納していること</p> <p>2 融資金額 運転資金：2,000万円以内、設備資金：2,000万円以内</p> <p>3 融資利率 1年以内：年0.7%、1年超：年1.3%</p> <p>4 融資期間 運転資金：7年以内、設備資金：15年以内</p> <p>5 その他 資本金の額が1,000万円以下かつ、常時使用従業員数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業、サービス業にあたっては5人、医療を主業とする法人にあたっては20人）以下の小規模企業者への信用保証料補給制度対象資金。（上限30万円） ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	融資金額		千円	1,288,640	612,400	596,700			
	融資件数		件	148	85	77			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							本資金は、市内小規模企業者に広く活用されていることから、「4」としました。
	効率性	●							事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
	公平性	●							市内小規模企業者を広く対象としていることから、「4」としました。
将来性	●				コロナ禍における市内小規模企業者の資金需要に重要な役割を果たしており、小規模企業者の資金繰りに大きく寄与する事業であることから、「4」としました。				
総合評価	A			本資金は市内小規模企業者に広く活用されており、コロナ禍における市内小規模企業者の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010104

事業名		中小企業協同化資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
令和4年度決算額	80,000	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	80,000	千円						
	一般財源	千円							
事業費（総計）	80,215	千円							
決算額	80,000	千円							
人件費	215	千円							
事業の目的	中小企業者等の組合及び構成員の事業に必要な資金を融資することを目的とします。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 融資対象 事業協同組合、企業組合、商店街振興組合、協業組合、生活衛生同業組合等及び構成組合員である中小企業者を対象とします。 融資条件 商工組合中央金庫の定めるところによります。 申込場所 商工組合中央金庫札幌支店（代理店は北央信用組合の市内支店） 								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	融資金額		千円	1,798,000	1,920,000	2,778,000			
	融資件数		件	28	33	60			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							本資金は、市内中小企業者における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。
	効率性	●							事業費の大半は商工中金札幌支店への預託金ですが、翌年度当初に全額回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
	公平性	●							市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。
将来性	●				コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしており、中小企業者等の発展に欠かせない事業であるため、「4」としました。				
総合評価	A			本資金は市内中小企業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も商工中金札幌支店と連携し、事業を推進していきます。					
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010105

事業名		中小企業機械等購入資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
令和4年度決算額	2,100	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	2,100	千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）	2,315	千円							
決算額	2,100	千円							
人件費	215	千円							
事業の目的	中小企業者等の設備の近代化、合理化を促進するために必要な機械等の購入資金を融資することにより、中小企業者等の振興、育成を図ります。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同一事業を営み、かつ、市税を完納している中小企業者等 資金使途 設備資金：生産、加工、試験又は検査に使用する機械等の設置 融資金額 2,000万円以内 融資利率 年1.5% 融資期間 10年以内 <p>※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	融資金額		千円	0	6,690	0			
	融資件数		件	0	2	0			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							本資金は、市内中小企業者の機械等設備投資における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。
	効率性	●							事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
	公平性		●						市内中小企業者等のうち、機械等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。
将来性	●				コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小企業者等の機械等設備投資に対する資金需要に必要な事業であることから、「4」としました。				
総合評価	B				本資金は、機械等の設備投資を行う市内中小企業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小企業者等の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。				
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010106

事業名		店舗近代化設備資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課					
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例								
令和4年度決算額		10,000	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他	10,000	千円							
	一般財源		千円							
事業費（総計）		10,215	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 B</div>						
決算額		10,000	千円							
人件費		215	千円							
事業の目的		中小事業者の店舗近代化に必要な資金を融資することにより、中小商業経営の近代化促進と地域の景観整備に貢献し、その振興を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 融資対象 市内中小事業者のうち、常時使用する従業員の数が50人以下の物販小売業・飲食店を営む企業及び事業協同組合等 2 資金使途 (1) 店舗の新築、増改築資金 (2) 組合が行う共同店舗建設資金 (3) テナント入店に要する内装設備資金 (4) 不動産等購入資金 3 融資金額 1企業5,000万円以内、1組合8,000万円以内（テナント入店資金2,000万円以内） 4 融資利率 年1.3% 5 融資期間 15年以内 <p>※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度		
		融資金額			千円	0	20,000	0		
		融資件数			件	0	1	0		
項目評価		高 → 低		評価の理由						
		4	3					2	1	
有効性		●								本資金は、市内中小事業者の設備投資における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。
効率性		●								事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
公平性			●							市内中小企業者等のうち、店舗の新築・増改築資金等の設備投資を行う中小業者に限定していることから、「3」としました。
将来性		●				コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小事業者の設備投資に対する資金需要に必要な事業であることから、「4」としました。				
総合評価		B		本資金は、店舗新築等の設備投資を行う市内中小事業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小事業者の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。						
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010107

事業名		中小企業環境保全施設資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課						
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例									
令和4年度決算額	1,500	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価		B	
総合評価											
B											
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	1,500	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）	1,715	千円									
決算額	1,500	千円									
人件費	215	千円									
事業の目的	<p>中小企業者等が、その事業活動に伴って発生する公害を処理又は防止するための施設整備資金、環境への負荷の低減や環境の保全に資するための施設整備資金を融資することにより、環境保全対策の推進を図り、市民の生活環境を向上させ、中小企業者等の振興を図ります。</p>										
事業の内容	<p>1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同じ事業を営み、市税を完納している中小企業及び関係法令により設立許可を受けた組合等</p> <p>2 融資金額 設備資金/移転資金 1件につき3,000万円以内 ・公害防止又は改善のために必要な機械等の購入及び施設の設置に要する経費 ・公害防止のため工場等を移転するための建設、設置等に要する経費 ・産業廃棄物の処理、資源化、再利用のための施設の設置・改善に要する経費 ・二酸化炭素排出量の削減に有効な施設等を導入する経費 ・再生可能エネルギーを活用する施設を導入する経費 次世代自動車導入資金 1企業につき2,000万円以内 ・次世代自動車（電気自動車、ハイブリット車、天然ガス車等）の購入経費及びその燃料供給施設設置経費</p> <p>3 融資利率 年1.1%</p> <p>4 融資期間 10年以内</p> <p>※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>										
SDGs17の目標											
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度					
	融資金額		千円	0	0	0					
	融資件数		件	0	0	0					
項目評価	高 → 低			評価の理由							
	4	3	2				1				
	有効性	●							本資金は、市内中小企業者の公害防止設備等の設備投資における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。		
	効率性	●							事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。		
	公平性		●						市内中小企業者等のうち、公害防止設備等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。		
将来性	●				コロナ禍、アフターコロナに加え、ゼロカーボンに関連する市内中小企業者等の公害防止設備等に対する資金需要に必要な事業であることから、「4」としました。						
総合評価	B			<p>本資金は、公害防止設備等の設備投資を行う市内中小企業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小企業者等の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。</p>							
特記事項	<p>決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。</p>										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010108

事業名		小規模企業経営改善資金信用保証料補給金		担当部署	産業経済部 商業振興課		
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例					
令和4年度決算額		18,869	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	18,869	千円				
事業費（総計）		19,299	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>			
決算額		18,869	千円				
人件費		430	千円				
事業の目的		小規模企業経営改善資金を借り入れたときに、北海道信用保証協会へ支払う信用保証料を補給することにより、小規模企業者等の健全な経営に資することを目的とします。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 信用保証料の補給対象 <ul style="list-style-type: none"> 資本金の額が1,000万円以下、かつ、常時使用する従業員の数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業及びサービス業にあたっては5人、医業を主たる事業とする法人は20人）以下の会社又は個人 小規模企業経営改善資金に限定 運転資金と設備資金の資金用途ごとに区分して、それぞれ適用 信用保証料の限度額 運転資金及び設備資金、それぞれ30万円を限度に補給 信用保証料の補給金の返納 信用保証料の補給を受けた小規模企業者が、一部又は全部を繰上返済したことにより約定貸付期間が繰り上がり、北海道信用保証協会から信用保証料の返戻を受けたときは、小規模企業者が負担した信用保証料を差し引いた、その返戻分について、市長へ返納するものとします。 					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		補給金額		千円	18,869	10,309	5,592
		補給件数		件	116	85	48
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				本事業は、小規模企業経営改善資金を借り入れた市内小規模企業者に広く活用されていることから、「4」としました。	
効率性		●				事業費の大半は信用保証料の補給金ですが、必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。	
公平性			●			小規模企業経営改善資金を借り入れた市内小規模企業者のみを対象としていることから、「3」としました。	
将来性		●				コロナ禍における市内小規模企業者の資金繰りに重要な役割を果たしている事業であることから、「4」としました。	
総合評価		A		本事業により、小規模企業者が小規模企業経営改善資金を借り入れた際に発生した信用保証料を補給することによって、事業者の資金繰りに重要な役割を果たしているものです。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010109

事業名		中小企業振興事業		担当部署	産業経済部 商業振興課															
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例																		
令和4年度決算額		1,087	千円	項目評価																
財源内訳	国道支出金	400	千円																	
	地方債		千円																	
	その他	687	千円																	
	一般財源		千円																	
事業費（総計）		4,231	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>																
決算額		1,087	千円																	
人件費		3,144	千円																	
事業の目的		中小企業振興条例及び中小企業振興計画に基づき、中小企業者のニーズや抱えている課題等を把握し、計画の三本柱である「創業及び事業承継の推進」「人材確保及び人材育成の強化」「事業継続のための経営基盤の強化・販路拡大の推進」につながる施策を継続的に実施し、振興を図ります。																		
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任つかう責任</p> </div> </div> <p>1 中小企業振興審議会 「中小企業振興計画」の進捗管理や、計画に基づいた有効な支援策等について、審議を行うとともに、令和4年度は次期計画である「第二次苫小牧市中小企業振興計画」を策定しました。</p> <p>2 中小企業振興セミナーの開催 中小企業振興条例、中小企業振興計画の周知及び計画推進のため、市内中小企業者を対象としたセミナーを実施いたします。 令和4年度は、地域づくり総合交付金を活用し、中小事業者や創業希望者のICT利活用促進と、ICTコミュニティ形成を目的に、「苫小牧市ICT推進コミュニティ創出事業」を実施し、ECサイトやSNS利活用についてのセミナーを17回実施いたしました。</p>																		
実施結果（活動指標）		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業振興審議会</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>中小企業振興セミナー参加者（R3、R4は延べ人数）</td> <td>人</td> <td>91</td> <td>214</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度	中小企業振興審議会	回	4	4	3	中小企業振興セミナー参加者（R3、R4は延べ人数）	人	91	214	30
指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度																
中小企業振興審議会	回	4	4	3																
中小企業振興セミナー参加者（R3、R4は延べ人数）	人	91	214	30																
項目評価		高 → 低				評価の理由														
		4	3	2	1															
有効性		●				本事業では、市の中小企業振興事業の方向性を定める中小企業振興審議会を開催すると共に、ニーズに応じて中小企業推進事業を継続的に実施しており、市の中小企業施策の中心を担っていることから「4」としました。														
効率性		●				事業費の大半が審議会委員への報酬と中小企業振興事業に係る委託料であり、必要最低限の経費で各種事業を展開しているため、「4」としました。														
公平性		●				審議会は中小企業振興条例に基づき、中小企業団体を中心に有識者や市民等幅広い人材で構成され実施していることから、「4」としました。														
将来性		●				本事業については、審議会をもとに本市の中小企業振興の方向性を継続的に審議・実施していく必要があることから、「4」としました。														
総合評価		A				本事業では、市の中小企業振興事業の方向性を定める中小企業振興審議会を開催していること、またニーズに応じて中小企業推進事業を継続的に実施していることから、今後の市の中小企業施策において不可欠な事業です。														
特記事項																				

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010110

事業名		中小企業人材育成補助		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
令和4年度決算額		502	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	502	千円					
事業費（総計）		1,218	千円					
決算額		502	千円					
人件費		716	千円	総合評価				
					A			
事業の目的		中小企業大学校旭川校など、独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修事業に従業員等を受講させる場合、中小企業人材育成補助金を交付し、中小企業の人材育成の促進を図ります。						
事業の内容		<p>中小企業の事業主が経営力・技術力強化のため、従業員等に受講させた中小企業大学校旭川校などの講座受講料の一部を補助しました。また、市内でサテライトゼミを開催し、6人が参加しました。</p> <p>8 働きがいも経済成長も </p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう </p> <ol style="list-style-type: none"> 補助要件 <ol style="list-style-type: none"> 本市に事業所又は事務所がある中小企業者であること 本市の市税に滞納がないこと 独立行政法人中小企業基盤整備機構の主催する研修事業を受けること 補助上限額 <ol style="list-style-type: none"> 市外開催 2万円 市内開催 WEB開催 1万5千円 ※受講料が上限額を超えない場合はその実額 1事業所につき、年間10万円上限としています。 						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
		研修受講人数			人	27	27	24
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性			●			本事業は市内企業の人材育成・経営基盤の強化に寄与しているものの、即効性の高い事業ではないため、「3」としました。		
効率性		●				市内のサテライトゼミを開催し、旭川大学校での受講より、事業者の距離的・時間的負担の軽減を図っていることから「4」としました。		
公平性		●				市内に事業所又は事務所がある中小事業者を広く対象としていることから「4」としました。		
将来性		●				本事業で中小企業大学校の研修の受講を促進することにより、企業の人材育成・経営基盤の強化が図られることから「4」としました。		
総合評価		A		中小企業の事業継続・発展のためには人材育成が必要不可欠です。研修の受講の周知を図り、人材育成の促進を図ってまいります。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010111

事業名		苦小牧地域産業力強化補助		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課																																		
根拠法令																																							
令和4年度決算額		500	千円	項目評価				総合評価 B																															
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債		千円																																				
	その他		千円																																				
	一般財源	500	千円																																				
事業費（総計）		572	千円																																				
決算額		500	千円																																				
人件費		72	千円																																				
事業の目的		自社のみでは解決できない課題を抱える中小企業に、（公財）道央産業振興財団の利用拡大・促進を図り、企業の課題を把握するとともに財団が持つ産学官金ネットワークを活用し、国・道・市などが実施する各種制度の活用を支援し、苦小牧地域の産業技術の高度化を図ります。																																					
事業の内容		SDGs17の目標 （公財）道央産業振興財団が行う次の事業に対し、苦小牧地域産業力強化補助金を支給しました。																																					
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>説明会参加企業数</td> <td>人</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度	説明会参加企業数	人	10	9	-																								
指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度																																			
説明会参加企業数	人	10	9	-																																			
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>財団の広報活動を支援し、地域の産学官金連携を推進することは、苦小牧地域の産業力強化に繋がりますが、即効性の高い事業ではないことから「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>豊富な知識や広い人脈を持つコーディネーターを有する財団の周知を図ることは、効率的な市内中小企業の支援に繋がることから「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>苦小牧地域の技術の高度化のため、市内中小企業へ財団の周知・利活用を促進したことから「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>ものづくり産業が集積する苦小牧市において、財団の活用促進や産学官金連携事業の推進は、将来にわたってまちづくりに重要であることから「3」としました。</td> </tr> </tbody> </table>					高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性		●			財団の広報活動を支援し、地域の産学官金連携を推進することは、苦小牧地域の産業力強化に繋がりますが、即効性の高い事業ではないことから「3」としました。	効率性	●				豊富な知識や広い人脈を持つコーディネーターを有する財団の周知を図ることは、効率的な市内中小企業の支援に繋がることから「4」としました。	公平性	●				苦小牧地域の技術の高度化のため、市内中小企業へ財団の周知・利活用を促進したことから「4」としました。	将来性		●			ものづくり産業が集積する苦小牧市において、財団の活用促進や産学官金連携事業の推進は、将来にわたってまちづくりに重要であることから「3」としました。
	高 → 低				評価の理由																																		
	4	3	2	1																																			
有効性		●			財団の広報活動を支援し、地域の産学官金連携を推進することは、苦小牧地域の産業力強化に繋がりますが、即効性の高い事業ではないことから「3」としました。																																		
効率性	●				豊富な知識や広い人脈を持つコーディネーターを有する財団の周知を図ることは、効率的な市内中小企業の支援に繋がることから「4」としました。																																		
公平性	●				苦小牧地域の技術の高度化のため、市内中小企業へ財団の周知・利活用を促進したことから「4」としました。																																		
将来性		●			ものづくり産業が集積する苦小牧市において、財団の活用促進や産学官金連携事業の推進は、将来にわたってまちづくりに重要であることから「3」としました。																																		
総合評価		B				引き続き、財団の利活用や産学官金連携事業を推進してまいります。																																	
特記事項																																							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010112

事業名		共同研究支援事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
令和4年度決算額		5 千円		項目評価				
財源内訳	国道支出金	千円		<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">総合評価 C</div>				
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	5 千円						
事業費（総計）	721 千円							
決算額	5 千円							
人件費	716 千円							
事業の目的		産学官連携を活性化するとともに中小企業の技術力向上と地域産業の振興を図ることを目的としています。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>市内企業が道内の研究機関の持つ専門知識や知見及び設備・機器等を活用し、共同で取り組む技術研究に対し補助金を交付します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象 : 市内に事業所のある中小企業 対象となる研究 : 道内の研究機関（工業高等専門学校、大学、苫小牧市テクノセンター等）と共同で行う研究 補助金額 : 上限50万円（補助率2/3） <p>※申請件数1件 採択件数0件</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
		補助事業数			件	0	1	3
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性					●	中小企業の技術力向上のため、研究機関との共同研究支援は有効と考えますが、採択件数へ結びつかず、期待した効果が得られていないことから「1」としました。		
効率性			●			（公財）道央産業振興財団や苫小牧高専サテライト「C-base」、市テクノセンター等の関係支援機関と連携し実施したことから「3」としました。		
公平性			●			事業の募集にあたっては、市内事業者や道内の大学等の研究機関への周知・連携を図る必要があることから「3」としました。		
将来性				●		研究機関との共同研究による企業の技術力向上は、将来にわたる地域経済の振興のため必要ですが、令和4年度の採択件数が無かったことを踏まえ、事業内容を検討する必要があるため「2」としました。		
総合評価		C		企業の申請負担、分かりやすさ、事業効率等を踏まえ、令和5年度から「苫小牧イノベーション活性化事業」と事業統合し、様々な知見を持つ研究機関と市内企業の共同研究につなげてまいります。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010113

事業名		地方創生地域コミュニティ活性化支援事業		担当部署	産業経済部 商業振興課		
根拠法令							
令和4年度決算額		28,505	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	28,505	千円				
事業費（総計）		32,086	千円	総合評価	B		
決算額		28,505	千円				
人件費		3,581	千円				
事業の目的		<p>本事業は、市総合戦略の基本目標のひとつ「地元の魅力強化、暮らしやすさ発信で移住を促進」の事業として、苫小牧市限定の地域完結型のポイントを活用することで、市外への買い物物流出を抑制し、本市経済の活性化につなげるとともに、市が実施する事業に対する関心を高めることを目的とした、地域一帯で行っている事業です。</p>					
事業の内容		<p>地方創生地域コミュニティ活性化支援補助金交付要綱及び苫小牧市とまチョップポイント付与等に関する要綱に基づき、苫小牧市限定の地域完結型ポイントを活用する事業を支援する事業です。</p> <p>とまチョップポイントサービスの実施主体は、令和2年度から㈱オーティスが運営を担っております。</p> <p>1 実施主体の業務 (1) 加盟店の開発 (2) 加盟店に対するフォローアップ (3) 加盟店や市が発行したポイントの管理・精算 (4) 利用促進のためのイベントの企画・運営 (5) ポイントシステムの導入 【令和4年度補助】 5,264千円</p> <p>2 市の取組 (1) イベント等でのポイント発行 (2) 広報とまこまい、ホームページ等を活用した事業の周知 【令和4年度実績】 22,000千円（役務費 手数料）</p>					
SDGs17の目標							
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		加盟店数（年度末時点）		店	152	165	190
		カード発行枚数（累計）		枚	62,666	61,476	58,400
		【新規】アプリダウンロード数（累計）		件	7,980	—	—
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性			●			加盟店数については減少傾向ですが、カード発行枚数とアプリダウンロード数は増えていることから「3」としました。	
効率性		●				アプリの導入により、「外出せずに」「端末を使わずに」ポイント付与することが可能となり、効率の良いポイント付与の仕組みができたことから「4」としました。	
公平性		●				老若男女問わず全市民を対象としたポイントサービスのため「4」としました。	
将来性			●			ヘルスケア機能の導入後、ウォーキング愛好者などこれまでとまチョップポイントに興味のなかった層がユーザーになるなど、今後もユーザーが拡大していく可能性が見えてきたことから「3」としました。	
総合評価		B		アプリの機能を活用し、更なるユーザーの獲得と加盟店増加を図ってまいります。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010114

事業名		とまなか産業発展・創出事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
令和4年度決算額		3,800	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	3,600	千円					
	一般財源	200	千円					
事業費（総計）		3,943	千円					
決算額		3,800	千円					
人件費		143	千円					
事業の目的		<p>苫小牧工業高等専門学校と締結した「連携及び協力に関する協定」をもとに、苫小牧高専と協働で中小企業等が抱える課題の解決や、新規事業化の支援を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。</p>						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>C-base運営協議会負担金 平成30年10月に開設した、苫小牧市、苫小牧高等工業専門学校、苫小牧商工会議所で運営する技術経営相談窓口「C-base」では、苫小牧高専教員（コーディネータ）が市内の各支援機関と協力しながら中小企業等が抱える課題の解決にあたっています。各支援機関の分野の異なる専門家と連携しながら、多様な課題に対応し、産業振興を図るため、C-base運営協議会へ負担金を支出しました。</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
		技術相談件数			件	63	84	64
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				C-baseでは、市内企業の技術相談のほか、補助金の申請支援、転職等に関する相談をとおして産業の振興に寄与したことから「4」としました。		
効率性		●				市、苫小牧高専、商工会議所が市内企業の技術相談窓口であるC-baseを協力して運営しており、効率的に中小企業の技術力向上を支援していることから「4」としました。		
公平性			●			中小企業の技術力向上を支援し、ものづくり産業の活性化を図ることは、苫小牧地域全体の産業振興に寄与することから「3」としました。		
将来性		●				C-baseでは、多様化する中小企業の課題解決に加え、新ビジネスに関する相談機能の充実に取り組んでおり、引き続き各機関の連携した支援が必要であることから「4」としました。		
総合評価		A				引き続き、C-baseを拠点に企業の課題解決や販路拡大に向けた共同研究や製品開発などにつなげていくことで、中小企業の技術力の向上・高度化を図ります。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010115

事業名		苦小牧イノベーション活性化事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課				
根拠法令									
令和4年度決算額		4,114	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	4,114	千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）		4,830	千円						
決算額		4,114	千円						
人件費		716	千円						
事業の目的		課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等を支援し、市内において新技術等を導入する機運の醸成や産業の活性化を図ります。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等に対し、苦小牧イノベーション活性化事業補助金を支給しました。 （補助率：中小企業等3/4 大企業2/3 上限200万円）</p> <p>採択事業（3件採択） 「稚内珪藻土を活用した「エコ調湿資材」開発事業」 「高湿度冷蔵庫を使用した新たな技術開発」 「コロナ禍で疲れた身体や心を癒す薬膳をWebブランディングしオンラインで届ける」</p>							
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度	
		補助事業数			件	3	4	9	
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性				●		苦小牧地域における先進的な技術やアイデアを導入し、課題の解決や新規事業の創出を図り産業の活性化に寄与したと考えますが、即効性がある事業ではなく、また令和4年度については、補助事業数が3件であったため「2」としました。			
効率性		●				（公財）道央産業振興財団や苦小牧高専サテライト「C-base」、市テクノセンター等の関係機関と連携し実施したことから「4」としました。			
公平性		●				事業の募集にあたり、C-baseや財団等と連携し、より多くの市内事業者へ周知を図っていきたいと考えていることや先着順ではなく、審査により採択者を決定していることから「4」としました。			
将来性			●			先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等を支援することは、将来にわたり地域経済活動の活性化が見込まれ、継続した事業実施により効果が高まることから期待されるため「3」としました。			
総合評価		B		評価項目のとおり、市内産業の活性化を図る事業として目的に適った事業を実施しておりますが、より多くの採択件数につなげ、地域への波及効果を図るため、補助要件、周知方法など、一部見直しを図ってまいります。					
特記事項		令和5年度、共同研究支援事業と事業統合。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010116

事業名		苫小牧市事業承継推進事業		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令									
令和4年度決算額		2,126	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	2,126	千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）		4,275	千円						
決算額		2,126	千円						
人件費		2,149	千円						
事業の目的		人口減少と少子高齢化に伴い、中小企業等における経営者の高齢化が進み休廃業や解散の増加が予想されることから、中小企業等における事業承継を推進し、本市経済の活性化を図ることを目的としています。							
事業の内容		事業譲渡、株式譲渡などにより、親族・役員・従業員以外の第三者に経営権を譲渡し事業承継をした市内の中小・小規模事業者に対して100万円を給付します。							
SDGs17の目標		<p>事業譲渡、株式譲渡などにより、親族・役員・従業員以外の第三者に経営権を譲渡し事業承継をした市内の中小・小規模事業者に対して100万円を給付します。</p> <p>《対象要件》</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内で事業を営む中小企業者等のうち、事業譲渡時に法人税の納税地が苫小牧市であった法人の経営者又は市内に住居登録のある個人事業主 法人税の納税地が苫小牧市である法人又は市内に住居登録のある個人事業主に対し、令和3年4月1日以降に第三者承継を完了した者 市内金融機関及び北海道事業承継・引継ぎ支援センターからの支援を受けて事業承継を完了した者 株式譲渡契約により事業承継を行った者は、譲渡事業者及び譲受事業者双方が市内で引き続き1年以上事業を営むこと。事業譲渡契約により事業承継を行った者は、譲受事業者が、譲渡事業者の事業を市内で引き続き1年以上営むこと。 市税を滞納していない者（ただし、納税課と分割納付協議にて猶予中の者を含む） 							
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度	
		給付件数			件	2	2	-	
項目評価		高 → 低			評価の理由				
		4	3	2	1				
有効性			●			令和4年度の目標件数3件に対して、2件という実施結果だったことから、「3」としました。			
効率性		●				企業版ふるさと納税を原資とし、市内金融機関及び北海道事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業のため「4」としました。			
公平性			●			全ての事業承継のケースを対象とせず、第三者承継に限定していることから「3」としました。			
将来性		●				本事業は事業の継続や雇用の維持に関する取組で、今後の地域経済の発展にも関わるため「4」としました。			
総合評価		A			地域経済の発展のため、今後も関係機関と連携して取り組んでまいります。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010117

事業名		ぶらっとみなと市場施設整備事業		担当部署	産業経済部 商業振興課						
根拠法令		苫小牧市商店街の活性化に関する条例									
令和4年度決算額	18,229	千円	項目評価								
財源内訳	国道支出金	6,000	千円								
	地方債		千円								
	その他	6,463	千円								
	一般財源	5,766	千円								
事業費（総計）	21,810	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>					総合評価		B	
総合評価											
B											
決算額	18,229	千円									
人件費	3,581	千円									
事業の目的	ぶらっとみなと市場の魅力向上に繋がる施設整備のほか、建設から50年以上経過していることによる建物の劣化状況の調査等を行うことで、漁港エリアの賑わいを創出する商業施設として今後も適正に維持管理することを目的とします。										
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設整備に係る工事及び業務 <ol style="list-style-type: none"> バリアフリー対応トイレ設置工事等 車椅子での来店者や乳幼児連れの利用者のトイレの利便性を向上させ、地域商店街の活性化に貢献するためバリアフリートイレを新設しました。 自動火災報知設備受信機他取替工事 自動火災報知設備の受信機及び発信機の取替工事を実施しました。 建物機能診断等業務 建物の劣化状況と施設の構成が現行法令・指針等に適合しているか調査しました。 設備の緊急修繕 老朽化等により漏水が生じた水抜栓の緊急修繕を実施しました。 										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度					
	来場者数（組合による集計値）		人	1,297,186	480,564	356,024					
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							多様な来客に対応するための施設整備や老朽化による必要な修繕を有効に実施し、当該施設が漁港エリアの賑わい創出に大きく寄与したことから「4」としました。		
	効率性		●						建物や設備等の老朽化により、突発的な修繕が発生した事例もあったことから、「3」としました。		
	公平性			●					市内の商店街のうち、ぶらっとみなと市場を運営する「商業協同組合苫小牧港市場」に対する事業のため、「3」としました。		
将来性	●				積極的なイベント開催やPR等によって、来場者数はコロナ禍にあっても堅調な伸びを示しており、本市による計画的な整備が施設維持の大きな後押しに繋がることから、「4」としました。						
総合評価	B			本施設は、漁港エリアを代表する商業施設として市内外からの認知度も高く、組合による積極的なイベント開催なども相まって、今後も地元住民や観光客など多くの誘客が見込める施設であることから、オープンで清潔な空間の創出に向けた整備を推進していきます。							
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010118

事業名		貨物自動車運送事業者燃料価格高騰対策支援事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課		
根拠法令							
令和4年度決算額		162,237	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	159,928	千円	<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">総合評価 A</div>			
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	2,309	千円				
事業費（総計）	173,555	千円					
決算額		162,237	千円				
人件費		11,318	千円				
事業の目的		市内貨物自動車運送事業者に対し、保有する貨物自動車数に応じた支援金を支給することで、燃料価格の高騰が経営に与える影響を緩和し、もって地域経済の安定を図ります。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>燃料価格の上昇分を直ちに取引価格に転嫁することが難しい貨物自動車運送事業者に対し、貨物自動車運送事業者燃料価格高騰対策支援金を支給しました。</p> <p>1 対象者 市内に営業所を有する法人（中小企業等）又は個人事業者で、貨物自動車運送事業法に定める一般貨物自動車運送業、特定貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業を営む事業者</p> <p>2 支援金 (1) 大型・中型自動車 1台あたり、45,000円 (2) 普通・軽自動車 1台あたり、20,000円 ※1事業者あたり、上限200万円</p>					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		補助金支給件数		件	372	—	—
項目評価		高 → 低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●				本補助金の対象となった貨物自動車・貨物軽自動車数は3,779台となっており、現在、市内で事業用として使用されているおおよその車両の申請に繋がったことから「4」としました。	
効率性		●				（一社）室蘭地区トラック協会苫小牧支部等、関係機関と連携を図り、補助対象者へ効果的に支援につなげたことから「4」としました。	
公平性			●			補助対象を燃料価格高騰を直ちに価格転嫁することが難しい貨物運送事業者と業種を限定しておりますが、本・支店を問わず、市内事業者を広く対象としたことから「3」としました。	
将来性			●			本市の物流を支える運送事業者の事業継続を支援したと同時に、業界団体と連携し事業を行うことで、今後も事業者の声を聞く体制が取れたことから「3」としました。	
総合評価		A				項目評価のとおり、コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分の交付金事業として、目的に合った事業を実施しました。	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010119

事業名		事業継続支援事業2022		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室							
根拠法令												
令和4年度決算額		195,194	千円	項目評価								
財源内訳	国道支出金	145,934	千円	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 将来性 効率性 </div>								
	地方債		千円									
	その他	4,420	千円									
	一般財源	44,840	千円									
事業費（総計）		201,787	千円						<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 将来性 効率性 </div>			
決算額		195,194	千円									
人件費		6,593	千円									
事業の目的		コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響は、市内中小・小規模事業者にも業種業態を問わず幅広く及んでおり、売上又は利益が大幅に減少した事業者に対し、事業を継続するための緊急的な支援を実施することにより、市内中小・小規模事業者の休廃業を防ぐとともに、雇用維持につなげるための支援を行います。										
事業の内容 SDGs17の目標		1 支給額 1 事業者あたり、10万円を支給（1 事業者につき1 申請） 2 対象要件 ※（3）についてはどちらかひとつに該当すれば対象 （1）資本金の額又は出資の総額が10億円未満であること 定めがない場合は、常時使用する従業員の数が2,000人以下であること （2）法人：苫小牧市内に本店登記を行っている、若しくは法人税の納税地（本店又は主たる事業所の所在地等）が苫小牧市であること 個人：住所又は、所得税の納税地が苫小牧市であること （3）ア 令和4年4月から令和4年9月までの期間のうち、申請日の属する前月までに、ひと月の売上が前年又は前々年同期比で30%以上減少した月があること イ 対象期間のうちの一ヶ月の仕入れ額又は経費が、平成31年4月から令和4年9月までのいずれか1年の同月を超え、かつ利益（売上一仕入れ額又は経費）が10%以上減少していること ※過去に国や道、市が実施した給付金等の受給有無は問わない （過去の事業継続支援金を含む）										
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度				
		交付金額			千円	194,900	-	-				
		支援件数（事業者）			件	1,949	-	-				
項目評価		高 → 低				評価の理由						
		4	3	2	1							
有効性		●				売上が大幅に減少した市内の中小、小規模事業者に対し幅広く支援金を給付し、事業の継続につながる支援を行うことができたため、「4」としました。						
効率性		●				事業費の大半は支援金であり、必要最低限の人件費のみで事業を展開できたため、「4」としました。						
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。						
将来性				●		本事業は、事業者への給付金事業であり、事業費も大きいことから、市の単費で継続実施することは困難と思われます。そのため、国の交付金等の活用が前提となることから、「2」としました。						
総合評価		A				本事業により、コロナ禍、原油価格・物価高騰等の影響を受けた事業者へ幅広く支援金を給付し、事業継続のための支援を行うことができました。						
特記事項												

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010120

事業名		事業継続支援事業2022（第2弾）		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室				
根拠法令									
令和4年度決算額		172,878	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	132,624	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	40,254	千円						
事業費（総計）		179,471	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>					
決算額		172,878	千円						
人件費		6,593	千円						
事業の目的		昨今のエネルギー価格や物価高騰等の影響は、市内中小・小規模事業者にも業種業態を問わず幅広く及んでおり、売上又は利益が大幅に減少した事業者に対し、事業を継続するための緊急的な支援を実施することにより、市内中小・小規模事業者の休廃業を防ぐとともに、雇用維持につながるための支援を行います							
事業の内容 SDGs17の目標		1 支給額 1事業者あたり、10万円を支給（1事業者につき1申請） 2 対象要件 ※（3）についてはどちらかひとつに該当すれば対象 （1）資本金の額又は出資の総額が10億円未満であること 定めがない場合は、常時使用する従業員の数が2,000人以下であること （2）法人：苦小牧市内に本店登記を行っている、若しくは法人税の納税地（本店又は主たる事業所の所在地等）が苦小牧市であること 個人：住所又は、所得税の納税地が苦小牧市であること （3）ア 令和4年10月から令和5年1月までの期間のうち、申請日の属する前月までに、ひと月の売上が前年又は前々年同月比で30%以上減少した月があること イ 対象期間のうちの一ヶ月の仕入れ額又は経費が、令和元年10月から令和4年1月までのいずれか1年の同月を超え、かつ利益（売上一仕入れ額又は経費）が10%以上減少していること ※過去に国や道、市が実施した給付金等の受給有無は問わない （過去の事業継続支援金を含む）							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度	
		交付金額			千円	172,600	-	-	
		支援件数（事業者）			件	1,726	-	-	
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				売上が大幅に減少した市内の中小、小規模事業者に対し幅広く支援金を給付し、事業の継続につながる支援を行うことができたため、「4」としました。			
効率性		●				事業費の大半は支援金であり、必要最低限の人件費のみで事業を展開できたため、「4」としました。			
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。			
将来性				●		本事業は、事業者への給付金事業であり、事業費も大きいことから、市の単費で継続実施することは困難と思われます。そのため、国の交付金等の活用が前提となることから、「2」としました。			
総合評価		A			本事業により、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受けた事業者へ幅広く支援金を給付し、事業継続のための支援を行うことができました。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010121

事業名		プレミアム付商品券事業（第3弾）【繰越明許】		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室	
根拠法令						
令和4年度決算額		682,956	千円	項目評価		
財源内訳	国道支出金	497,673	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">総合評価 A</div>		
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	185,283	千円			
事業費（総計）	700,633	千円				
決算額		682,956	千円			
人件費		17,677	千円			
事業の目的		コロナ禍で落ち込んだ地元消費の回復、拡大及び地域経済の活性化を目的として、市内の商店等で使用できるプレミアム付商品券を発行。さらに、大きな影響を受けた飲食店や地元店を応援するプレミアム付商品券を発行しました。				
事業の内容		1 事業内容（当初） (1) 一般商品券 ア 販売額 1冊 5,000円（500円券12枚綴り） イ プレミアム率 20% ウ 発行冊数 150,000冊（発行総額900,000千円） (2) 飲食店&地元店応援券（通称：とまチケ） ア 販売額 1冊 5,000円（500円券15枚綴り） イ プレミアム率 50% ウ 発行冊数 150,000冊（発行総額1,125,000千円） (3) 販売方法 ア 申込用紙での応募方式による引換販売 (4) 購入上限冊数 ア それぞれ1人につき2冊 2 事業内容の変更点 (1) 商品券の増刷 ア 一般商品券を155冊、とまチケを1,778冊増刷（計1,933冊増刷） 発行数 一般商品券：150,155冊 とまチケ：151,778冊 合計：301,933冊 (2) 購入上限冊数 ア 当初、上限冊数1人2冊だったが、応募多数によりとまチケのみ4人世帯以上の上限冊数を1冊減				
SDGs17の目標						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度
		発行枚数	枚	4,078,530	2,860,944	3,086,804
		換金（使用）率	%	99.51	99.55	99.64
		使用金額	千円	2,029,352	1,424,103	1,537,917
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				商品券購入者に行ったアンケート調査からも、地域における一定の消費喚起効果があったと確認できたため「4」としました。
効率性		●				約700,000千円の予算に対し、短期間で2,000,000千円を超える消費が促されていることから効率性は高いため「4」としました。
公平性		●				R4.2.4現在の住民登録がある全世帯に対し申請書を送付し、約1か月間受け付け。その後、申請した方が全員購入できるよう調整して割当てを行ったことから、公平性は保てたため「4」としました。
将来性				●		プレミアム費用及び事務費については発行冊数に応じて費用が増大するため、市の単費で継続して行うことは困難と思われます。そのため、国の交付金や北海道の補助金の活用が前提となるため「2」としました。
総合評価		A		短期間に2,000,000千円を超える金額が消費され、地域における一定の消費喚起効果や、コロナ禍で大きな影響を受けた飲食店や地元店への支援につながったものと見込めることからA評価としました。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010122

事業名		第三者認証取得推奨給付金事業【繰越明許】		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室			
根拠法令								
令和4年度決算額		15,494	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金	14,800	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	694	千円					
事業費（総計）		21,948	千円					
決算額		15,494	千円					
人件費		6,454	千円	総合評価	A			
事業の目的								
<p>苦小牧市内すべての飲食店が、北海道の第三者認証制度の認証を取得することで、安全安心を市内外にアピールし、多くのお客様の来店に繋がります。また、認証取得により、感染再拡大となった場合でも、時短営業・酒類提供時間短縮・人数制限の影響を緩和出来る北海道の「ワクチン・検査パッケージ」が適用される環境を整えます。</p>								
事業の内容								
SDGs17の目標								
<ol style="list-style-type: none"> 支給額 第三者認証制度の認証を取得した店舗について、1店舗あたり5万円を支給（同一事業者が複数店舗で認証取得をした場合、各店舗分該当） 対象要件 苦小牧市内にある第三者認証制度の認証を取得した店舗 ※ 店舗規模の大小、主たる事業者の住所、法人・個人は問わない 申請受付期間 令和4年2月～12月末 								
実施結果（活動指標）								
		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度	
		交付金額		千円	15,300	17,000	-	
		支援件数（店舗）		店舗	306	340	-	
項目評価								
		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						北海道の第三者認証制度の認証を受けた市内の飲食店（店舗毎）に対し給付金を給付し、感染防止対策の推進につながる支援を行うことができたため、「4」としました。
効率性		●						事業費の大半は給付金であり、必要最低限の人件費のみで事業を展開できたため、「4」としました。
公平性		●						市内の飲食店を幅広く対象としたことから、「4」としました。
将来性				●		本事業は、事業者への給付金事業であり、事業費も大きいことから、市の単費で継続実施することは困難と思われます。そのため、国の交付金等の活用が前提となることから、「2」としました。		
総合評価		A				本事業により、北海道の第三者認証制度の認証を受けた市内の飲食店（店舗毎）に対し給付金を給付し、感染防止対策の推進につながる支援を行うことができました。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010201

事業名		苫小牧港管理組合負担金		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課																																												
根拠法令		苫小牧港管理組合規約																																															
令和4年度決算額		628,859	千円	項目評価						総合評価 A																																							
財源内訳	国道支出金		千円																																														
	地方債		千円																																														
	その他		千円																																														
	一般財源	628,859	千円																																														
事業費（総計）		638,886	千円																																														
決算額		628,859	千円																																														
人件費		10,027	千円																																														
事業の目的		苫小牧港の港湾整備に要する事業経費、苫小牧港管理組合の管理運営などに要する経費と港湾に係る収入、国の支出金等の収支不足分を苫小牧港管理組合規約に基づき、北海道と苫小牧市の負担金として持分負担します。																																															
事業の内容		<p>●東港区周文ふ頭新規岸壁整備事業 ＜整備箇所図＞</p> <p>【周文ふ頭新規岸壁整備スケジュール（予定）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>全体数量</th> <th>単位</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岸壁(水深9m)(耐震)</td> <td>270</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>泊地(水深9m)</td> <td>1.4</td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>港湾施設用地</td> <td>2.3</td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ふ頭用地</td> <td>1.9</td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>●西港区真古舞地区国際物流ターミナル整備事業 ＜整備箇所図＞（令和5年度供用開始）</p>								施設名	全体数量	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	岸壁(水深9m)(耐震)	270	m						泊地(水深9m)	1.4	ha						港湾施設用地	2.3	ha						ふ頭用地	1.9	ha					
施設名	全体数量	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																										
岸壁(水深9m)(耐震)	270	m																																															
泊地(水深9m)	1.4	ha																																															
港湾施設用地	2.3	ha																																															
ふ頭用地	1.9	ha																																															
SDGs17の目標																																																	
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年（速報値）	R3年	R2年																																										
		取扱貨物量（外貿）		千 t	15,791	16,034	13,812																																										
		取扱貨物量（内貿）		千 t	92,263	88,743	86,486																																										
		取扱貨物量（合計）		千 t	108,054	104,777	100,298																																										
項目評価		高 → 低		評価の理由																																													
		4	3	2	1																																												
有効性		●				港湾整備・管理運営により、苫小牧市・北海道の発展に大きく貢献していますので「4」としました。																																											
効率性		●				効率的な港湾整備・管理運営が実施できていますので「4」としました。																																											
公平性		●				公平性を保つよう十分に努めていますので「4」としました。																																											
将来性		●				苫小牧市・北海道の発展に、苫小牧港の発展は必要ですので「4」としました。																																											
総合評価		A		各項目評価のとおり、港湾施設の効率化・老朽化対策に備えた整備が進められました。今後は、事業採択となった東港区周文ふ頭における、利便性の向上と大規模自然災害に備えた耐震性を有する岸壁の整備を促進します。																																													
特記事項																																																	

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010202

事業名		企業立地振興条例助成		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課				
根拠法令		苫小牧市企業立地振興条例							
令和4年度決算額	247,212	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	247,212	千円						
事業費（総計）	251,509	千円							
決算額	247,212	千円							
人件費	4,297	千円							
事業の目的	事業場の新設・増設、それに伴う新規雇用、緑化事業を行ったものに対し、助成金の交付を行い、もって地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図り、本市の発展に寄与します。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 事業場設置助成金 事業場の新增設を行った企業に対し、2～3年分の固定資産税相当額を助成しました。 ※3年間に分割して交付します。 雇用助成金 事業場の新增設に伴う新規雇用に対し、1人につき30万円助成しました。 緑化助成金 事業場の新增設に伴う緑化工事に対し、緑化に要した費用の30%を助成しました。 								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	事業場設置助成金		千円	233,412	168,159	176,557			
	雇用助成金		千円	13,800	10,500	3,900			
	緑化助成金		千円	0	0	0			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							数多くの企業に活用いただいていますので、「4」としました。
	効率性		●						企業立地振興条例に基づいた助成を実施していますので、「3」としました。
	公平性	●							企業立地振興条例に基づいた助成を実施しており、進出企業への周知を行っていますので「4」としました。
将来性	●				企業進出や設備増強などの投資に対し助成することで、市内に産業振興の将来性につながっていますので「4」としました。				
総合評価	A			各項目評価のとおり、多くの企業に活用いただき、新たな設備投資や雇用の創出につながっています。今後も進出企業へ積極的なPRを図っていくとともに、経済動向や効果を勘案し、制度見直しを柔軟に行います。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010203

事業名		苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会負担金		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課			
根拠法令								
令和4年度決算額		750	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	750	千円					
事業費（総計）		2,182	千円	総合評価	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>			
決算額		750	千円					
人件費		1,432	千円					
事業の目的		市民や地元企業などに対して、CCUS（二酸化炭素・回収・有効利用・貯留）・カーボンリサイクルに係る実証試験等のプロジェクトや関連産業に対する地元誘致に対する理解と機運の醸成を図ります。						
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> 事業の進捗状況や活動等について掲載した機関紙「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会通信Vol.13」を発行しました。 市庁舎に設置したモニターでCO2圧入量等の情報公開を行ったほか、パネル展等への後援・協力を行いました。 ゼロカーボンWEB勉強会を主催し、関連企業等より5名の方にご講演いただき、315名に参加いただきました。 関係機関と連携してスマートエネルギーWEEKに出展しました。 共同出展者：日本CCS調査㈱、苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会 来場者：会場全体65,196名、苫小牧ブース189名（名刺交換） <p>※子ども実験教室は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
		CCS講演会「地球温暖化とCCS」			人	180	0	0
		子ども実験教室・夏休み宿題教室			人	0	19	0
		現場視察会			人	20	0	0
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性			●			国の「2050年カーボンニュートラル」に向けた方向性とも合致しており、有効性の高い活動であると考えられるため、「3」としました。		
効率性			●			苫小牧水素プロジェクト会議を併合し「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会」へ改組。会員、関係企業・団体と連携を図りながら活動を行っており、「3」としました。		
公平性			●			モニターを活用した情報公開や、事業の進捗状況や活動内容などを掲載した機関紙の発行など、情報発信・広報周知活動に努めており、「3」としました。		
将来性			●			国の「2050年カーボンニュートラル」に向けた方向性とも合致しており、引き続き取組を継続すべき活動であると考えられるため、「3」としました。		
総合評価		B				コロナの影響により実施できない活動もありましたが、評価項目のとおりおおむね目的に適った活動を実施できています。今後も、事業展開に関連した情報収集等に努め、国や関係機関、地元企業と連携し、更なるプロジェクト誘致につながるよう活動を継続してまいります。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010204

事業名		立地企業サポート事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課				
根拠法令		苫小牧市立地企業サポート事業補助金交付要綱							
令和4年度決算額	46,556	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	45,800	千円						
	一般財源	756	千円						
事業費（総計）	50,853	千円			総合評価	B			
決算額	46,556	千円							
人件費	4,297	千円							
事業の目的	雇用機会の創出と雇用の安定化を目的として、市内に事業所を有する企業等を対象に、人材確保への支援や雇用環境改善に係る補助や支援を行います。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>市内の立地企業を対象に、従業員の定着率の向上や雇用の安定化を目的とした労働環境の改善のための設備投資や、経営の安定化を目的とした展示会や商談会への出展経費、人材の確保を目的とした就職説明会への出展経費に対して、補助を行いました。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	展示会や商談会への出展経費等の補助件数		件	9	10	29			
	合同就職説明会等への参加法人数		社	50	41	32			
	労働環境の改善等のための経費の補助件数		件	39	31	27			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2	1					
	有効性	●				人材確保への支援や雇用環境改善に繋がるよう周知を行い、多くの企業へ補助を行いましたので、「4」としました。			
	効率性		●			これまで、補助上限額を設定するなど、より多くの企業に事業を活用いただけるよう制度の見直しを行うなど、効率化を図りながら事業を実施しているので「3」としました。			
	公平性	●				事前に十分な広報を行い、補助対象企業は選定委員会により決定するなど、公平性を図り事業を実施したため「4」としました。			
将来性		●			企業の職場環境改善に貢献するなど、従業員の定着率向上に資する事業を実施しているので「3」としました。				
総合評価	B			項目評価のとおり、おおむね目的に適した事業展開ができていますが、より効果的な事業とするため、事業の認知度向上に繋がる取組を実施していきます。今後も継続的に立地企業との意見交換・情報共有を図り、より効果的な事業となるように制度を見直しながら、課題解決に向けて連携・協力・フォローアップを行います。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010205

事業名	苫小牧港PR促進事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課		
根拠法令	苫小牧港PR促進事業補助要綱					
令和4年度決算額	1,000	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	千円		総合評価 A		
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	1,000 千円				
事業費（総計）	1,716	千円				
決算額	1,000	千円				
人件費	716	千円				
事業の目的	「みなとオアシス」の区域並びに施設を一体的に利用し地域の賑わいを創出する住民参加型の取組を推進するため、関係機関や市民との連携を図るとともに、関連事業活動の継続性の確保と支援を行い、港湾都市「苫小牧」の活性化に寄与することを目的とします。					
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>【みなとオアシス苫小牧運営協議会としての事業】※苫小牧港PR促進事業分</p> <ol style="list-style-type: none"> みなとオアシスSea級グルメ北海道大会in室蘭、全国大会in八幡浜への出店 PRの強化 <ul style="list-style-type: none"> 親水空間において市民団体によるコンサートを開催 親水空間の賑わい創出のためコスモスの種蒔き並びに花壇へ花苗の植え付けを実施 港に親しむ機会の創出のため、港周辺にて説明を伴ったウォーキングと港湾業務艇への乗船による航海体験を実施 <p>(Sea級グルメ八幡浜大会集合写真)</p>					
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
	Sea級グルメブース来場者		人	1737 (室蘭527人、 八幡浜1,210人)	0 (境港市 ※延期)	0 (境港市 ※延期)
項目評価	高 → 低				評価の理由	
	4	3	2	1		
	有効性	●				第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会において優勝し、苫小牧港のPRにつながったため「4」としました。
	効率性	●				みなとオアシスSea級グルメ全国大会において室蘭大会、八幡浜大会の2回参加できたため「4」としました。
	公平性		●			多くの市民と連携できたため「3」としました。
将来性	●				本事業は、今後においても苫小牧港のPRにつながる魅力発信や賑わい創出を図るために継続して実施していく必要があることから「4」としました。	
総合評価	A				<p>数年ぶりに開催されたみなとオアシスSea級グルメ全国大会に参加し、27団体中優勝するなど苫小牧港のPR強化に繋がりました。今後も「みなとオアシス苫小牧運営協議会」の活動に対する支援を通じ、交流人口や観光客等の増加を図り、苫小牧港のさらなる魅力発信や賑わいの創出を図ります。</p>	
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010206

事業名		テクノセンター機器整備事業		担当部署	産業経済部 テクノセンター				
根拠法令		苫小牧市テクノセンター条例							
令和4年度決算額	14,419	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	14,419	千円						
事業費（総計）	32,570	千円							
決算額	14,419	千円							
人件費	18,151	千円							
事業の目的	地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化に寄与するため、テクノセンター機器及び設備を整備し、その充実を図ります。								
事業の内容	<p>地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化を促進して産業支援を図るためには、継続的に基盤整備が必要であることから、平成16年度から計画的に設備更新と最新の技術水準に対応した支援機器の導入を進めております。</p> <p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> </div> <p>1 事業の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 設備機器の操作法指導及び利用開放を行っております。 (2) 企業からの依頼による材料試験、検査等を行い、成績書を発行しております。 (3) 企業の技術力向上に資するため、技術相談や技術指導を行っております。 (4) 技術研修会や技術講習会を随時開催しております。 <div style="text-align: center;"> <p>微小硬度計（令和4年度新規導入機器）</p> </div>								
実施結果（活動指標）	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	機器利用・依頼試験		件	1,612	1,014	845			
	技術相談・技術指導		回	98	92	39			
	技術研修会・技術講演会参加者		人	132	235	182			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
有効性	●							企業から多くの機器利用や依頼試験などの活用があり、企業ニーズに応じていると評価できますので、「4」としました。	
効率性		●						設備機器が高額なため、「3」としました。	
公平性	●							利用者から使用料又は手数料を納めていただき、受益者負担としているので、「4」としました。	
将来性	●				苫小牧市における工業技術の高度化を促進し、産業の振興を図るための基盤となる事業ですので、「4」としました。				
総合評価	A			地域企業においては、人材不足感が高まるなか、競争力強化のための技術力向上や生産技術の高度化が求められており、なお一層の技術支援や設備の充実がテクノセンターに求められています。一方、設備機器の高機能化に伴い高額化していることから、各種補助金などの利用も検討します。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010207

事業名		苦小牧クルーズ振興協議会補助		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課						
根拠法令		苦小牧クルーズ振興協議会補助金交付要綱									
令和4年度決算額		0 千円		項目評価							
財源内訳	国道支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円									
事業費（総計）		716 千円		総合評価	C						
決算額		0 千円									
人件費		716 千円									
事業の目的		苦小牧港に入港するクルーズ船の歓迎体制を構築することにより、クルーズ船文化の創造を図り、更なるクルーズ船の入港に繋げるとともに、苦小牧港の新たな魅力の発信と地域振興及び観光振興に寄与することを目的とします。									
事業の内容		<p>【苦小牧クルーズ振興協議会として実施した事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> 白老港と連携した受入対応に係る企画・運営の実施 官学連携によるおもてなし体制の構築 クルーズコンテンツの探求に係るネットワークの形成 クルーズ船誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> 船社等への訪問活動 各種会合やセミナーへの参加 <ul style="list-style-type: none"> 北海道クルーズ振興協議会 全国クルーズ活性会議 など 他港湾の視察 <ul style="list-style-type: none"> 清水港視察 									
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度				
		クルーズ船入港回数		回	0	0	0				
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性				●					新型コロナウイルス感染症の影響によりクルーズ船の入港が中止となったものの、誘致活動については実施できましたので「2」としました。		
効率性				●					新型コロナウイルス感染症の影響によりクルーズ船の入港が中止となったものの、誘致活動については実施できましたので「2」としました。		
公平性				●					新型コロナウイルス感染症の影響で、全体の動きとしてクルーズ船の入港は見送られていますが、収束後の活動について調整していますので「2」としました。		
将来性			●			新型コロナウイルス感染症の影響で、全体の動きとしてクルーズ船の入港は見送られていますが、収束後の活動について調整していますので「3」としました。					
総合評価		C				新型コロナウイルス感染症の影響で、クルーズ船入港に伴う事業は未実施ですが、その他事業について実施し、クルーズ船受入れ環境の構築に努めました。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010208

事業名		苫小牧市テクノセンター機器等整備基金積立金		担当部署	産業経済部 テクノセンター		
根拠法令		苫小牧市テクノセンター機器等整備基金条例					
令和4年度決算額	1,027	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	1,027	千円				
	一般財源		千円				
事業費（総計）	2,544	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>				
決算額	1,027	千円					
人件費	1,517	千円					
事業の目的	自律的な企業支援体制を構築するためにテクノセンターの機器等の整備に要する費用の財源に充てます。						
事業の内容	SDGs17の目標 令和3年度末基金残高 820,820円 令和4年度基金積立金 1,027,271円 令和4年度基金取崩し額 0円 令和4年度末基金残高 1,848,091円						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度	
	基金の年度末残高		千円	1,848	821	232	
項目評価	高 → 低			評価の理由			
	4	3	2				
	有効性	●				地域企業の工業技術の高度化促進のために必要な測定機器等の整備に要する費用の財源に充てる事業なので、「4」としました。	
	効率性		●			10年程度の積立期間を想定しているため、「3」としました。	
	公平性	●				財源はテクノセンター使用料及び手数料から充当しており、受益者負担としているため、「4」としました。	
将来性	●				10年程度の積立期間を想定しているため継続する必要があり、「4」としました。		
総合評価	A			地域企業においては、競争力強化のための技術的向上や生産技術の高度化が求められており、より一層の技術支援や設備の充実がテクノセンターに求められています。一方でテクノセンターに導入すべき設備機器も高額化していることから、本事業の他に各種補助金などの活用も検討します。			
特記事項	事業開始は令和3年1月です。財源はテクノセンター使用料及び手数料から充当しています。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010209

事業名		苫東地区通信基盤撤去事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課						
根拠法令											
令和4年度決算額		12,111	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	9,822	千円								
	一般財源	2,289	千円								
事業費（総計）		13,543	千円								
決算額		12,111	千円								
人件費		1,432	千円								
					総合評価						
					A						
事業の目的		NTT東日本㈱とのIRU契約終了に伴い、現状通信設備の撤去工事を行う。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>撤去工事費について 総額 12,111,000円（税込）</p> <p>【内訳】 苫東通信基盤整備連絡協議会（保有繰越金） 5,245,724円 苫小牧市 2,289,276円 苫小牧港管理組合 2,288,000円 株式会社苫東 2,288,000円</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							撤去工事が滞りなく終了したため「4」としました。		
効率性		●							撤去工事が滞りなく終了したため「4」としました。		
公平性		●							費用については、苫東通信基盤整備連絡協議会内での3者負担としたため「4」としました。		
将来性		●				撤去工事が滞りなく終了したため「4」としました。					
総合評価		A				撤去工事が滞りなく終了し、苫東通信基盤整備連絡協議会も事業目的を果たしたため解散。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010210

事業名		テクノセンター受変電設備改修工事		担当部署	産業経済部 テクノセンター				
根拠法令		苫小牧市テクノセンター条例							
令和4年度決算額	8,910	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	6,239	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	2,671	千円						
事業費（総計）	10,512	千円							
決算額	8,910	千円							
人件費	1,602	千円							
事業の目的	老朽化の進むテクノセンターの受変電設備に漏電等の事故が発生した場合、施設利用者はもちろん、近隣企業に対しても重大な被害を及ぼす事態も懸念されるため、電源立地地域対策交付金を活用し、当該設備の改修を行うものです。								
事業の内容	<p>1 テクノセンター受変電設備改修工事費 8,910,000円 （工事の内容） (1) 屋内キュービクル内の高圧機器取替 (2) 構内高圧ケーブル取替、立上管管取替、PAS取替、設置極改修</p> <p>2 令和4年度電源立地地域対策交付金充当額 6,239,000円</p>								
SDGs17の目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> </div> </div>								
	<p>【構内高圧ケーブル埋設配管施工状況】</p>		<p>【高圧負荷開閉器取替完了】</p>						
実施結果 （活動指標）	指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度		
	技術相談・技術指導年間回数45回（令和5年度）			回	98	92	39		
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							老朽化が進み危険な状態となっていたテクノセンター受変電設備の交換工事を行い、地域企業及び利用者の安全・安心を確保できたことから、「4」としました。
	効率性	●							交付金を有効に活用したため、「4」としました。
	公平性	●							全てのテクノセンター利用者にとっての安全・安心を確保できたことから、「4」としました。
将来性		●			受変電設備の交換工事は完了しましたが、テクノセンターの施設全体としては、他にも老朽化によって修繕すべき箇所があり、今後もこのような改修工事を継続的に実施していく必要があることから、「3」としました。				
総合評価	A				本事業によって、テクノセンターをより一層安全にご利用頂ける状況となり、結果として技術支援業務を安定的に行うことが可能になったものと評価しております。今後も、交付金等の活用を検討しつつ、テクノセンター施設の修繕を適切に実施して、利用者の安全確保に努めていきたいと思っております。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010301

事業名		港まつり事業		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和4年度決算額		5,433	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	5,433	千円					
事業費（総計）		23,425	千円					
決算額		5,433	千円					
人件費		17,992	千円					
事業の目的		市内最大のイベントである「とまこまい港まつり事業」に対する補助金です。例年多くの市民の皆さんが参加され、大いに楽しまれています。ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む市民をあげてのまつりであり、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的としています。						
事業の内容		<p>1 港まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら3年ぶりの開催となりました。中央公園（若草町）のメイン会場では、ステージ行事を始め、約80店舗の露店や、協賛ブースなどにより令和4年度の来場者は30万人でした。</p> <p>2 ステージ行事ではよしもとお笑いライブやキャラクターショーを実施し、超満員の賑わいを見せました。</p> <p>3 市民おどり・マーチングフェスティバル・ポートカーニバルについては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止といたしました。</p>						
SDGs17の目標								
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
		来場者数			人	300,000	0	0
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				本市の夏の最大のイベントであり、市民のほか、市外からの来場者が多く、有効性の高いイベントです。		
効率性		●				約30万人の来場が見込まれ、地域経済の活性化が大きく見込めます。		
公平性		●				全市民に参加・来場の機会が平等にあり、一律の利益も見込めます。		
将来性		●				市内中心部で開催することにより、中心部の活性化が図られるとともに、交流人口が増加することで地域経済の活性化が見込めると考えています。		
総合評価		A				令和4年度は3年ぶりの開催となりましたが、約30万人の来場者があり、地域経済の活性化として、事業の有効性は高いと考えています。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010302

事業名		スケートまつり事業		担当部署	産業経済部 観光振興課																																		
根拠法令																																							
令和4年度決算額		6,026	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">項目評価</td> <td colspan="3">有効性</td> <td rowspan="6"> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td rowspan="6">A</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国道支出金</td> <td colspan="2">千円</td> <td rowspan="6"> </td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td colspan="2">千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,026</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（総計）</td> <td>19,598</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>6,026</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> <td>13,572</td> <td>千円</td> </tr> </table>	項目評価		有効性			<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td rowspan="6">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	財源内訳	国道支出金	千円			地方債	千円		その他	千円		一般財源	6,026	千円	事業費（総計）		19,598	千円	決算額		6,026	千円	人件費		13,572	千円
項目評価		有効性			<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td rowspan="6">A</td> </tr> </table>	総合評価		A																															
総合評価		A																																					
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債		千円																																				
	その他		千円																																				
	一般財源		6,026	千円																																			
事業費（総計）			19,598	千円																																			
決算額		6,026	千円																																				
人件費		13,572	千円																																				
事業の目的		<p>冬の一大イベントである「とまこまいスケートまつり」に対する補助金です。『氷都とまこまい』を市内外にPRする冬の一大イベントで、市民はもちろん、市外からもたくさんの方が訪れています。特に「しばれ焼き」は苦小牧の名物として広く愛され、子供達が楽しめるアトラクションも多く、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的としています。</p>																																					
事業の内容		<p>1 スケートまつりは新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら3年ぶりの開催となりました。中央公園（若草町）のメイン会場では、ステージ行事を始め、約40店舗の露店や、各会場での協賛などにより令和4年度の来場者は6万人でした。</p> <p>2 ステージ行事ではよしもとお笑いライブやキャラクターショー、市民参加型企画のウルトラウインタークイズやビンゴ大会を実施し超満員の賑わいを見せました。</p>																																					
SDGs17の目標																																							
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度																															
		来場者数			人	60,000	0	0																															
項目評価		高 → 低		評価の理由																																			
		4	3	2	1																																		
有効性		●				本市の冬の最大のイベントであり、市民のほか、市外からの来場者が多く、有効性の高いイベントです。																																	
効率性		●				約6万人の来場が見込まれ、地域経済の活性化が大きく見込めます。																																	
公平性		●				全市民に参加・来場の機会が平等にあり、一律の利益も見込めます。																																	
将来性		●				市内中心部で開催することにより、中心部の活性化が図られるとともに、交流人口が増加することで地域経済の活性化が見込めると考えています。																																	
総合評価		A			令和4年度は3年ぶりの開催となり、約6万人の来場者があり、地域経済の活性化として、事業の有効性は高いと考えています。																																		
特記事項																																							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010303

事業名		たるまえサンフェスティバル事業		担当部署	産業経済部 観光振興課				
根拠法令									
令和4年度決算額		2,850	千円	項目評価				総合評価	
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	2,850	千円						
事業費（総計）		3,566	千円						
決算額		2,850	千円						
人件費		716	千円						
事業の目的		「市民参加型のイベント」を目指すと共に、来場者・協賛者・地域・主催者が共に参加し、楽しめるイベントとして位置づけ、雄大な樽前山の麓にあるオートリゾート苫小牧アルテン「まぎばの広場」のロケーションの素晴らしさを市民を含めた観光客に提供し、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的としています。							
事業の内容		<p>1 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を行いながら 歌やダンス、お楽しみ抽選会のステージの開催や参加型の鮭のつかみ取り、じゃがいも詰め放題などを開催しました。</p> <p>2 バーベキューメニューは、和牛バラ（80g）、外国産豚バラ（120g）、国産鶏肉（100g）をセットにして販売しました。</p> <p>3 道南バスの鉄北北線（03）の路線でワンコインバスを運行しました。</p>							
SDGs17の目標									
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度	
		来場者数			人	20,000	11,000	9,500	
項目評価		高 → 低			評価の理由				
		4	3	2	1				
有効性		●				市内だけではなく、市外からも来場者が多く、有効性の高いイベントです。			
効率性		●				広くイベントの周知を行ったことで、市内外からの来場者があり、本市の観光入込客及び本市の知名度向上につながりました。			
公平性		●				ワンコインバスを運行するなど、全市民が参加可能です。			
将来性		●				新型コロナウイルス感染症により、令和2～3年度は来場者は減少していましたが、令和4年度は増加しており、継続して開催することにより、本市の知名度向上に効果が見込めます。			
総合評価		A			樽前山の麓で開催されるこのイベントは、会場からのロケーションは素晴らしく、豊かな自然が満喫できる環境の中でバーベキューを楽しめる希少なイベントと高い評価をいただいています。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010304

事業名		苦小牧市大会等誘致推進協議会補助		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和4年度決算額		600	千円	項目評価		総合評価 A		
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	600	千円					
事業費（総計）		1,316	千円					
決算額		600	千円					
人件費		716	千円					
事業の目的		スポーツや文化の合宿や大会など積極的に誘致・推進することにより、地域経済の活性化と対外的イメージアップを目的としています。						
事業の内容		<p>1 広報活動は、各種団体等へ大会開催状況調査などを行っているほか、歓迎ステッカーを作成し、市内宿泊施設や公共施設、JR苦小牧駅構内にある大会・合宿歓迎看板などへ掲示を行いPRしています。</p> <p>2 誘致推進事業は、例年、首都圏等に出向きアイスホッケーと陸上競技関係の大学、実業団などへ合宿誘致セールスを行っています。また、合宿など実施いただいた際の助成制度の紹介や差し入れなども行い、誘致に必要な各種要望活動も行っています。</p>						
SDGs17の目標								
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
		延べ宿泊者数			人	4,187	4,436	4,668
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				令和4年度も新型コロナウイルス感染症により、延べ宿泊者数は減少しているが、その中でも合宿等はある、宿泊者がいることにより、事業の目的を達成しています。		
効率性		●				コロナ禍でもセールスプロモーションを実施することで、継続して実施することにより、効果が得られています。		
公平性		●				宿泊者数の増加によって交流人口が増加し、地域経済が活性化することで企業市民にとって一律の利益があります。		
将来性		●				本市の交通アクセスの利便性、充実した諸施設、冷涼な気候など、本市の優位性を継続して道内外へPRすることにより、将来の交流人口の増加が見込めます。		
総合評価		A				団体での合宿は長期間での宿泊者数が多く、地域経済の活性化に寄与するため、事業の効果は大きいものと考えています。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010305

事業名		とまこまいフィルムコミッション事業		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和4年度決算額		102	千円	項目評価				総合評価
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	102	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		2,967	千円					
決算額		102	千円					
人件費		2,865	千円					
事業の目的		各種撮影を通し、苦小牧を広くPRするため、映像製作者への各種支援を行い、本市におけるロケーション撮影が円滑に行われる環境を整え、支援を通じ地域振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とします。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 各種撮影支援を年間平均20件ほど行っています。 例年、ジャパンフィルムコミッション（JFC）主催の映像関係者や製作者に特化した全国ロケ地への誘致及びPRを目的とした商談会である、全国ロケ地フェアに参加し、本市のPRを行っていますが、イベントが重なったため参加を中止しました。 観光振興課ホームページで活動報告などのPRを行っています。 各種要望等に応えるため、各関係機関と連携し、調整しながら事業を進めています。 						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
		ロケ支援活動実績			件	15	30	25
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				撮影時の撮影隊の滞在費、作品放送（掲載）後に本市に来てもらうことで、事業の目的を達成している。		
効率性		●				継続して映像作品として放送することにより、本市の知名度向上に有効であると考えています。		
公平性		●				映像作品を見て本市に足を運ぶことにより、交流人口の増加し、全市民に利益がある。		
将来性		●				継続して実施することにより、知名度向上及び観光入込客数の増加が見込める。		
総合評価		A			ロケ誘致等に成功した際の経済効果が大きく、また、本市の知名度向上に寄与するものと考えています。			
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010306

事業名		観光振興ビジョン推進事業		担当部署	産業経済部 観光振興課																															
根拠法令																																				
令和4年度決算額		17,032	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> <td rowspan="6"> </td> <td rowspan="6"> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="2">A</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国道支出金</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7,095</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>9,937</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（総計）</td> <td>27,059</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>17,032</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> <td>10,027</td> <td>千円</td> </tr> </table>	項目評価			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="2">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	財源内訳	国道支出金		千円	地方債		千円	その他	7,095	千円	一般財源	9,937	千円	事業費（総計）		27,059	千円	決算額		17,032	千円	人件費		10,027	千円
項目評価			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="2">A</td> </tr> </table>		総合評価				A																											
総合評価					A																															
財源内訳	国道支出金								千円																											
	地方債					千円																														
	その他				7,095	千円																														
	一般財源			9,937	千円																															
事業費（総計）		27,059	千円																																	
決算額		17,032	千円																																	
人件費		10,027	千円																																	
事業の目的		平成28年2月策定の「苦小牧観光振興ビジョン」を推進し、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。																																		
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> 観光事業者等支援事業：本市事業者への道外販路拡大の情報提供を行いながら、市外での出店補助を行い、本市への誘客促進につなげました。また、本市の産業施設等を撮影スポットとして開放するコスプレフェスタを開催することで、経済波及効果がありました。 外国人観光客誘致事業：外国人観光客誘客に必須となる英語翻訳支援を行い、受入環境の整備を進めました。 観光誘客促進業務委託事業：本市の魅力を広く発信するため、市内の観光情報を掲載したガイドブックを作成しました。また、本市の特色ある産業を観光資源とした花火&産業夜景バスツアーの開催や本市事業者とともに道外の商談会参加や旅行事業者を訪問するなど、誘客促進活動を行いました。 さらにアニメツーリズム推進事業では、本市とゆかりのあるアニメ作品とコラボレーションし、本市の知名度向上を図りました。 観光案内業務強化事業：道の駅ウトナイ湖において、観光案内所を常設し、本市の魅力効果的に発信するとともに、市内観光施設への誘客促進を図りました。 観光情報発信強化事業：本市の魅力を広く情報発信し、国内外からの観光入込客の更なる増加を図るため、雑誌やメディアを活用した観光情報の発信力強化を図りました。 																																		
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度																													
		観光入込客数		万人	213.1	148.2	142.1																													
項目評価		高 → 低		評価の理由																																
		4	3	2	1																															
有効性		●				新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数は減少しているが、アニメ作品とコラボレーションするなど知名度向上に努め、ポストコロナに向け、本市に足を運びたいとの意見があり、事業の目的を達成しています。																														
効率性		●				最小の資源により、市外、道外に向けて観光情報を発信することにより、最大限の効果が得られています。																														
公平性		●				知名度が向上し、交流人口が増加することで、全市民に利益があります。																														
将来性		●				継続して実施することにより、知名度向上及び観光入込客数が増加することで、地域経済の活性化が見込めます。																														
総合評価		A		この事業を進めることで、インバウンド観光客の誘客やアニメ作品等を活用した誘客事業など、本市を幅広くPRすることができ、観光振興ビジョンを推進していく上で、非常に効果が高いと考えています。																																
特記事項																																				

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010307

事業名		ウトナイ交流センター施設整備事業		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和4年度決算額		171,210	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金	13,000	千円					
	地方債		千円					
	その他	158,210	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		172,642	千円					
決算額		171,210	千円					
人件費		1,432	千円					
事業の目的		地域、来館者、従業員等の要望も踏まえ、館内の乱雑さや労働環境等の課題を解決し、多様化する来館者ニーズ対応や利便性の向上、観光情報発信等の施設機能の強化を図り、来館者の増加及び市内観光周遊を促進するために改修工事を行う。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p><主な施設整備内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外販売所の設置（給排水、ガス、エアコン、ダクト、電気設備等含む） ・入口正面及び通り抜け通路前に防風壁を設置 ・パーゴラの撤去 ・エントランス（正面アクリル板撤去） ・テイクアウト店舗（開口部の拡大等） ・厨房、レストラン、眺望スペース（エアコン設置、コンセント設置等） ・直売所（レジカウンター移設、カウンター新設、流し台廻り床・壁及び床改修、窓改修等） ・事務室（倉庫設置、案内用窓改修等） ・通り抜け通路（壁及び天井塗装、壁付掲示板設置等） ・デジタル観光案内版設置 ・キッズコーナー設置 						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				苫小牧市観光入込数の多くを占めているウトナイ交流センターの利便性向上により、来館者数の増加を図ります。		
効率性		●				改修工事により、館内を効率的に活用することができるとともに、観光案内所利便性が向上します。		
公平性		●				改修工事により、来館者のわかりやすさ、利用しやすさを向上します。		
将来性		●				来館者を増加させることにより、更なる交流人口の増加を見込みます。		
総合評価		A				改修工事を行い、来館者の利便性向上や観光情報発信等の施設機能の強化を図り、来館者の増加や、観光周遊促進を見込みます。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010308

事業名		モラップ事業場受電キュービクル更新修繕負担金		担当部署	産業経済部 観光振興課				
根拠法令									
令和4年度決算額		1,888	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円	<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">総合評価 B</div>					
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	1,888	千円						
事業費（総計）		2,604	千円						
決算額		1,888	千円						
人件費		716	千円						
事業の目的		支笏湖地区の電気事業者である王子製紙から千歳水明郷で受電した電力を、モラップキャンプ場及びその周辺施設に配電するための自家用電気工作物が設置されてから長期間更新されておらず、耐用年数も経過していることから、受電者である千歳市・環境省・北海道・苫小牧市で更新工事を行うものです。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <p><受電キュービクル更新修繕></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気工事 ・基礎コンクリート工事 ・既存基礎解体 <p>※苫小牧市（モーラップ樽前荘）負担割合=10.4%</p>							
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●						修繕により、モーラップ地区に安定的な電気の供給ができることで、周辺施設の安定経営が図られ、にぎわい創出が期待できます。	
効率性		●						修繕により、効率的な電気の供給が維持できます。	
公平性		●						修繕費用について、受電者の契約電力量に基づいて按（あん）分することにより、受電者間の公平な費用負担となっています。	
将来性					●	本市が所管していたモーラップ樽前荘については令和4年度末をもって廃止となりましたが、修繕により、モーラップ地区の安全かつ安定的な電気供給が図られることで支笏湖周辺の誘客促進につながります。			
総合評価		B				本市が所管していたモーラップ樽前荘は令和4年度末をもって廃止となりましたが、モーラップ地区は現在環境省が中心となり再整備を進めており、安定的な電気供給を維持することで、今後も更なる誘客促進につながるため、事業の効果は大きいものと考えています。			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010309

事業名		ウトナイ交流センター補償金		担当部署	産業経済部 観光振興課						
根拠法令											
令和4年度決算額		976	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	976	千円								
事業費（総計）		1,692	千円								
決算額		976	千円								
人件費		716	千円								
事業の目的		新型コロナウイルス感染症による施設の減収に対する損失補填を目的としています。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>補填金積算 令和3年12月1日～令和4年3月31日 976,393円</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							当施設を適正に運営するためには必要な補償です。		
効率性		●							当施設の運営に必要最低限の補償内容です。		
公平性		●							当施設が適正に運営されることにより、全市民並びに観光客に一律の利益があります。		
将来性		●				本市の観光入込客数の大半を占める当施設を維持することで、今後も安定的な誘客が見込まれます。					
総合評価		A				減収に伴う補填額を適切に行っています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010310

事業名		ウトナイ交流センター電気料金高騰支援補償金		担当部署	産業経済部 観光振興課						
根拠法令											
令和4年度決算額		361	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	361	千円								
事業費（総計）		1,077	千円	総合評価	A						
決算額		361	千円								
人件費		716	千円								
事業の目的		ウトナイ交流センターの電気料金値上げに係る損失補填を目的としています。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>補填金積算 ・令和4年4月～10月 360,725円</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							当施設を適正に運営するためには必要な補償です。		
効率性		●							当施設の運営に必要最低限の補償内容です。		
公平性		●							当施設が適正に運営されることにより、全市民並びに観光客に一律の利益があります。		
将来性		●				本市の観光入込客数の大半を占める当施設を維持することで、今後も安定的な誘客が見込まれます。					
総合評価		A				電気料金高騰に伴う補填額を適切に行っています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010311

事業名		宿泊割引・宿泊者向け商品券配布事業【繰越明許】		担当部署	産業経済部 観光振興課		
根拠法令							
令和4年度決算額	59,664	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金	40,600	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	19,064	千円				
事業費（総計）	61,813	千円					
決算額	59,664	千円					
人件費	2,149	千円					
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ宿泊需要を喚起し、道内外からの誘客を促進するため宿泊割引を実施する。また、割引利用者に市内飲食店等で利用できる商品券（とまチケ）を配布し、消費活動の促進及び地域経済の活性化につなげます。						
事業の内容	SDGs17の目標 <宿泊割引（10,000泊・30,000,000円）> ・宿泊目的は問わず（観光・ビジネス）、対象宿泊施設（16施設）で1人1泊につき税込5,000円以上の宿泊プラン利用者に対し、3,000円を割引。最大2泊まで （実績）延べ割引宿泊者数 9,730泊 割引適用金額 29,190,000円 <商品券配布（40,000枚・20,000,000円）> ・宿泊割引利用者に1人1泊につき2,000円（500円×4枚）の商品券（とまチケ）を提供 （実績）換金枚数 37,212枚 換金額 18,606,000円 <実施期間> 4月29日～9月30日チェックアウトまで						
実施結果（活動指標）	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
有効性	●				事業の実施により、宿泊事業者及び市内飲食店の利用が促進されるとともに、新たな利用者を掘り起こすこともでき、多くの効果が得られました。		
効率性	●				事業の実施により、宿泊事業者及び市内飲食店の利用が促進されるとともに、新たな利用者を掘り起こすこともでき、多くの効果が得られました。		
公平性	●				宿泊目的・対象地域等を限定せずに実施することで公平性を確保しました。		
将来性		●			事業の実施により市外、道外からの利用者も多数おり今後の本市への宿泊者増が期待されます。		
総合評価	A		新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ宿泊需要喚起、地域経済活性化策として単年度で実施した事業ですが、多くの宿泊事業の創出と市内飲食店の利用で地域経済の活性化が図られ、事業の効果は大きかったと考えています。				
特記事項							